

第72回セメント技術大会

～ プログラム ～

| | | | |
|------|--------------|-------------|--------|
| 日 時： | 2018年5月8日(火) | 9：15～15：45 | 研究発表 |
| | 9日(水) | 9：15～12：15 | 研究発表 |
| | | 13：30～15：00 | 論文賞表彰式 |
| | | 15：30～17：00 | 特別講演 |
| | | 17：15～18：45 | 懇談会 |
| | 10日(木) | 9：15～15：15 | 研究発表 |

会 場： ホテルメトロポリタン

参加費： 無料（受付にて入場確認をさせていただきます）

講演要旨： 印刷版・CD-ROM版：各 定価5,130円（本体4,750円＋税380円）

書籍とCDをセットでお求めの場合は定価8,208円（本体7,600円＋税608円）

※大会終了日までは特別価格にて販売いたします（書店でお求めの場合は定価となります）

【印刷版・CD-ROM版：各5,000円（税込み）、セット8,000円（税込み）】

4月下旬発行予定

※本大会は土木学会認定CPDプログラムです

一般社団法人 セメント協会

東京都中央区日本橋本町1丁目9番4号

☎ 103-0023 TEL. 03-5200-5051

研究所

東京都北区豊島4丁目17番33号

☎ 114-0003 TEL. 03-3914-2692（技術情報グループ）

第72回セメント技術大会 研究発表スケジュールおよび司会者一覧

〔敬称略〕

| 開催日 | 会場 | 9:00 | 9:30 | 10:00 | 10:30 | 11:00 | 11:30 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 14:30 | 15:00 | 15:30 | 16:00 | 16:30 | 17:00 | 17:30 | 18:00 | 18:30 | 19:00 |
|---------------------------|-----------------------------|------|---|-------|--|---|--|---------------|-------|---|-------|-------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大会 1日目 5月8日 (火) | 第1会場 2階 曙 | | セメントの水和 (5件) No.1101~1105 島根大学 新 大軌 ㈱トクヤマ 国居 新 | 休憩 | | セメントの水和、 セメント系新材料 (5件) No.1106~1110 東京工業大学 松澤 一輝 住友大阪セメント㈱ 狩野 和弘 | | 昼休み (60分) | | 分析技術 (6件) No.1111~1116 日本大学 佐藤 正己 住友大阪セメント㈱ 清水 準 | 休憩 | | 環境・リサイクル (4件) No.1117~1120 前橋工科大学 佐川 孝広 宇部興産㈱ 丸屋 英二 | | | | | | | | | |
| | 第2会場 3階 カシオペア | | セメント、モルタルの 性質と物性 (5件) No.1201~1205 日本大学 三五 弘之 太平洋セメント㈱ 黒川 大亮 | 休憩 | | セメント、モルタルの 性質と物性 (4件) No.1206~1209 大成建設㈱ 宮原 茂禎 三菱マテリアル㈱ 山下 敬生 | | 昼休み (60分) | | セメント、モルタルの 性質と物性 (4件) No.1210~12 13 名古屋大学 丸山一平 太平洋セメント㈱ 細川 佳史 | 休憩 | | 混合セメント、特殊セメント (6件) No.1214~1219 電源開発㈱ 石川 嘉崇 宇部興産㈱ 伊藤 貴康 | | | | | | | | | |
| | 第3会場 4階 桜 | | 塩害・鋼材腐食 (6件) No.1301~1306 港湾空港技術研究所 川端 雄一郎 日鉄住金高炉セメント㈱ 竹内 一真 | 休憩 | | 塩害・鋼材腐食、中性化 (5件) No.1307~1311 東京都市大学 佐藤 幸恵 住友大阪セメント㈱ 山本 誠 | | 昼休み (60分) | | 流動性 (5件) No.1312~1316 名古屋工業大学 吉田 亮 BASFジャパン㈱ 菅俣 匠 | 休憩 | | 化学混和剤 (4件) No.1317~1320 日本大学 大宅 淳一 ㈱フローリック 西 祐宜 | | | | | | | | | |
| 大会 2日目 5月9日 (水) | 第1会場 午前：富士A 午後：富士AB | | 製造技術、クリン カー鉱物 (3件) No.2101~2103 太平洋セメント㈱ 内藤 浩一 宇部興産㈱ 追立 修士 | 休憩 | | 環境・リサイクル (5件) No.2104~2108 日本大学 梅村 靖弘 宇部興産㈱ 大崎 雅史 | | 昼休み (会場設営) | | セメント協会挨拶 論文賞表彰式 論文賞受賞者記念講演 | 休憩 | | 特別講演 セメント化学の将来を展望する ～コンクリート工学への貢献～ 北海道大学 総長 名和 豊春氏 | | | | | | | | | |
| | 第2会場 午前：富士BC 懇談会：富士CD | | セメント系補修材、 コンクリートの診断・補修 (4件) No.2201~2204 横浜国立大学 細田 暁 三菱マテリアル㈱ 高原 幸之助 | 休憩 | | コンクリートの 診断・補修 (4件) No.2205~2208 東京理科大学 今本 啓一 デンカ㈱ 宮口 克一 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第3会場 午前：富士D 懇談会：富士CD | | コンクリートの試験方法、 コンクリート製品 (5件) No.2301~2305 芝浦工業大学 伊代田 岳史 宇部興産㈱ 大和 功一郎 | 休憩 | 委員会 報告 セメント系 固化材 技術専門 委員会 | | セメント系固化材 (5件) No.2306~2310 広島大学 半井 健一郎 三菱マテリアル㈱ 清田 正人 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大会 3日目 5月10日 (木) | 第1会場 富士A | | コンクリート舗装 (6件) No.3101~3106 東京農業大学 小梁川 雅 宇部興産㈱ 吉田 浩一郎 | 休憩 | | コンクリートの施工、 ポーラスコンクリート、 繊維補強コンクリート (4件) No.3107~3110 首都大学東京 上野 敦 住友大阪セメント㈱ 高山 和久 | | 昼休み (60分) | | 物性一般(3件) No.3111~3113 群馬大学 小澤 満津雄 太平洋セメント㈱ 前堀 伸平 | 休憩 | | 膨張・収縮、ひび割れ (5件) No.3114~3118 金沢工業大学 田中 泰司 三菱マテリアル㈱ 中山 英明 | | | | | | | | | |
| | 第2会場 富士BC | | 耐久性一般 (5件) No.3201~3205 埼玉大学 浅本 晋吾 太平洋セメント㈱ 兵頭 彦次 | 休憩 | | 耐久性一般、ASR (5件) No.3206~3210 新潟大学 斎藤 豪 日鉄住金高炉セメント㈱ 大塚 勇介 | | 昼休み (60分) | | 凍結融解、化学的浸食・溶脱 (6件) No.3211~3216 岩手大学 小山田 哲也 三菱マテリアル㈱ 植田 厚元 | | | | | | | | | | | | |
| | 第3会場 富士D | | 混和材 (5件) No.3301~3305 東京大学 酒井 雄也 住友大阪セメント㈱ 西 元央 | 休憩 | | 混和材、骨材 (4件) No.3306~3309 東京大学 高橋 佑弥 ㈱デイ・シイ 二戸 信和 | | 昼休み (60分) | | 混合セメント (5件) No.3310 ~3314 山口大学名誉教授 後藤 誠史 ㈱トクヤマ 茶林 敬司 | 休憩 | | セメント系新材料 (4件) No.3315~3318 東京理科大学 清原 千鶴 住友大阪セメント㈱ 中島 有一 | | | | | | | | | |

- 備考 (1) 時間帯は、概略の時刻を示しております。発表は、1件当たり4分間の質疑応答を含め、14分間の予定です。
 (2) それぞれのセッションのテーマ名は、発表内容の概要を示したもので、プログラム編成上の都合により、発表内容と一致しない場合があります。
 (3) 本プログラムは、申込書の記載事項をもとに作成しています。

5月8日(火)

第1会場

注：○印は講演者、*印は「セメント協会研究奨励金」関連研究を示す

9：15～10：30 セメントの水和

〔研究発表 1101～1105〕

1101. モルタル加熱時の見掛け密度に及ぼす化合物の影響

福島工業高等専門学校 ○緑 川 猛 彦
車 田 研 一

1102. 初期水和におけるセメント系水和生成物と化学混和剤の相互作用

島根大学大学院 新 大 軌
日本大学 ○大 宅 淳 一
島根大学 原 弘 峻
日産化学工業株式会社 須 藤 裕 司

1103. アルミネート相の水和に及ぼすクリンカーの冷却速度の影響

太平洋セメント株式会社 ○溝 淵 裕 美
細 川 佳 史
内 田 俊 一 郎

1104. C/Sの異なる合成C-S-Hのseedingがエーライトの初期水和反応に及ぼす影響

北海道大学大学院 ○阿 部 夢 時
森 永 祐 加
吉 田 慧 史
北海道大学 名 和 豊 春

1105. 無機添加剤がエーライトの初期水和反応に及ぼす影響

北海道大学大学院 ○森 永 祐 加
阿 部 夢 時
北海道大学 名 和 豊 春

第2会場

9：15～10：30 セメント、モルタルの性質と物性

〔研究発表 1201～1205〕

1201. セメント原料の粒度分布を考慮した粒子間距離と空隙体積分布のシミュレーション

東京工業大学 ○相 川 豊
坂 井 悦 郎
東京大学大学院 野 口 貴 文

1202. 少量混合成分を増加させた高C₃A型セメントのアルカリシリカ反応特性

宇部興産株式会社 ○後 藤 卓
伊 藤 貴 康

1203. 高C₃A化したセメントの強さおよび乾燥収縮に及ぼすSO₃の影響

三菱マテリアル株式会社 ○原 田 匠
山 下 牧 生

1204. Fundamental study on microstructure and drying shrinkage of low heat Portland cement

Nagoya University ○Sugimoto Hiroki
Kurihara Ryo
Maruyama Ippei

1205. 1.1nmトバモライトの生成及び結晶構造にMgおよびアルカリが及ぼす影響

新潟大学 ○加 藤 福 將
斎 藤 豪
旭化成ホームズ株式会社 松 井 久 仁 雄
新潟大学 佐 伯 竜 彦

〈休憩 10：30～10：45〉

〈休憩 10：30～10：45〉

| |
|-------------|
| 第3会場 |
|-------------|

9：15～10：45 塩害・鋼材腐食

〔研究発表 1301～1306〕

1301. Triple Layer Modelを考慮したC-A-S-Hの表面錯体反応機構の検討

| | |
|----------|------------------------|
| 北海道大学 | ○久保田 凜太郎 |
| 北海道大学大学院 | 小林 創 |
| | Elakneswaran Yogarajah |
| 北海道大学 | 名和 豊春 |

1302. 高炉セメントにフライアッシュを混合したコンクリートの中性化および塩分浸透抵抗性

| | |
|---------|---------|
| 長崎大学大学院 | ○佐々木 謙二 |
| 長崎大学 | 中山 大誠 |
| 長崎大学大学院 | 原田 哲夫 |

1303. コンクリート細孔の表面電荷がイオンの拡散浸透に及ぼす効果

| | |
|----------|--------|
| 北海道大学 | ○市川 恒樹 |
| 国立環境研究所 | 山田 一夫 |
| 土木研究センター | 三浦 正純 |

1304. 温度と相対湿度が異なる亜硝酸リチウム圧入量のRC構造鉄筋腐食に及ぼす影響に関する研究

| | |
|----------|--------|
| 宮崎大学 | ○兒玉 悠利 |
| | 李 春鶴 |
| 極東興和株式会社 | 江良 和徳 |
| 井上建設株式会社 | 峯松 昇司 |

1305. pHとCa(OH)₂が種類の異なる溶液に浸せきしたコンクリート／モルタル中のCl浸透性状に及ぼす影響

| | |
|-----------|--------|
| 東京理科大学大学院 | ○直町 聡子 |
| 東京理科大学 | 加藤 佳孝 |

1306. 塩素固定化材と膨張材を併用したコンクリートの耐塩性評価

| | |
|---------|--------|
| デンカ株式会社 | ○伊藤 慎也 |
| | 保利 彰宏 |
| 芝浦工業大学 | 浴 陸真 |
| | 伊代田 岳史 |

〈休憩 10：45～11：00〉

5月8日(火)

第1会場

10:45~12:00 セメントの水和、セメント系新材料

[研究発表 1106~1110]

1106. $^1\text{H-NMR}$ Relaxometryを用いた乾燥下の微細構造変化測定に関する基礎研究

名古屋大学大学院 ○榎丸 達人
名古屋大学 山一 平
千葉大学 大窪 貴洋
名古屋大学 栗原 諒

1107. 高 C_3A 化および高 SO_3 化したクリンカーを用いたセメント硬化体中の細孔分布と水和物

三菱マテリアル株式会社 ○原田 匠生
山下 牧

1108. 高C/S比のC-S-H焼成による C_2S の水和反応解析

新潟大学 ○井川 義貴
斎藤 藤 豪
太平洋セメント株式会社 佐伯 竜彦
細川 佳史

1109. 共沈法による高C/S比C-S-Hの合成

新潟大学 鈴木 一 帆
太平洋セメント株式会社 ○斎藤 藤 豪
新潟大学 細川 佳史
佐伯 竜彦

1110. 高C/S比C-S-Hの低温焼成による C_2S の生成に関する検討

新潟大学 ○鈴木 一 帆
新潟大学大学院 斎藤 藤 賢之介
太平洋セメント株式会社 細川 佳史

<昼休み 12:00~13:00>

第2会場

10:45~11:45 セメント、モルタルの性質と物性
[研究発表 1206~1209]

1206. U-Phaseの合成・キャラクタリゼーション及び高炉セメント中における生成挙動の観察

北海道大学大学院 ○梶尾 知広
Elakneswaran Yogarajah
大成建設株式会社 大脇 英司
北海道大学 名和 豊春

1207. 高炉スラグ微粉末を多量に含むモルタルのダイラタシヤ的性状の発現に関する研究

宇都宮大学 ○細貝 朱里
宇都宮大学大学院 菅原 岳美
宇都宮大学 藤原 浩巳
丸岡 正知

1208. 高炉スラグ微粉末を用いたセメントペースト硬化体物性の湿度による影響の一考察

名古屋工業大学大学院 吉田 亮
○井上 裕介

*1209. 水銀圧入履歴を用いた細骨材周りの遷移帯の同定方法に関する一考察

名古屋工業大学大学院 ○吉田 亮
青山 和将

<昼休み 11:45~12:45>

| |
|-------------|
| 第3会場 |
|-------------|

11:00~12:15 塩害・鋼材腐食、中性化

〔研究発表 1307~1311〕

*** 1307. 鉄筋の不動態皮膜が破壊するコンクリート細孔溶液中に存在する塩化物イオン濃度の評価**

| | |
|-----------|-------|
| 東京理科大学大学院 | ○橋本永手 |
| 東京理科大学 | 加藤佳孝 |

*** 1308. 断面修復材の種類および補修範囲がマクロセル腐食に及ぼす影響**

| | |
|------------|-------|
| 金沢工業大学 | ○花岡大伸 |
| | 妻木優一 |
| 東亜建設工業株式会社 | 宮里心彦 |
| | 網野貴彦 |

1309. コンクリート橋梁等の耐久性能と橋梁伸縮装置性能向上技術開発に関する基礎的考察

| | |
|--------------|------|
| 三重大学 | ○桜井宏 |
| 桜コンサルティングLLC | 日置晋 |
| 株式会社クリテック工業 | 若林勇 |
| 北海道大学 | 佐伯二昇 |

1310. セメント硬化体の炭酸化機構の検討

| | |
|-----------|-------|
| 山口大学 | ○後藤誠史 |
| 芝浦工業大学大学院 | 中村絢也 |
| 芝浦工業大学 | 伊代田岳史 |

1311. 高炉セメント硬化体の実環境および促進環境における炭酸化メカニズムに関する考察

| | |
|-----------|-------|
| 芝浦工業大学大学院 | ○中村絢也 |
| 芝浦工業大学 | 伊代田岳史 |
| 山口大学 | 後藤誠史 |

〈昼休み 12:15~13:15〉

5月8日(火)

第1会場

13:00~14:30 分析技術

[研究発表 1111~1116]

1111. 材齢50年を経た中庸熟フライアッシュダムコンクリートのC-A-S-H

株式会社太平洋コンサルタント ○高橋晴香
芳賀和子
電源開発株式会社 石川嘉崇
東京都立産業技術研究センター 渡邊禎之

1112. タイル接着用モルタル表層における吸水調整材検出方法の検討(その1)

株式会社太平洋コンサルタント ○沢木大介
澤田佳奈
青山一真

1113. タイル接着用モルタル表層における吸水調整材検出方法の検討(その2)

株式会社太平洋コンサルタント 沢木大介
澤田佳奈
○青山一真

1114. クリンカ間隙相の微細組織解析におけるEBSDの適用

太平洋セメント株式会社 ○引田友幸
中居直人
曾我亮太
内田俊一郎

1115. トバモライトの遠赤外吸収測定と第一原理計算によるピーク帰属

旭化成ホームズ株式会社 ○松井久仁雄
旭化成株式会社 一岡優里
新潟大学 斎藤 豪

1116. イメージングプレートを用いたCs-137とSr-90の分別定量に関する一考察

東北大学大学院 ○大澤紀久
国立環境研究所 山田一夫
竹内幸生
東北大学大学院 五十嵐 豪

第2会場

12:45~13:45 セメント、モルタルの性質と物性

[研究発表 1210~1213]

1210. 高炉スラグ細骨材が緻密化する細骨材周りの遷移帯と硬化体物性の関係に関する一考察

名古屋工業大学大学院 ○吉田亮
名古屋工業大学 森 さや香
竹本油脂株式会社 齊藤和秀
日本大学 吉澤千秋

1211. MD simulation of alkali meal ions with C-A-S-H

University of the Basque Country UPV/EHU Duque-Redondoa Eduardo
National Institute for Environmental Studies ○Yamada Kazuo
University of the Basque Country UPV/EHU Inigo López-Arbeloaa
Manzano Hegoi

1212. 重液分離の手法を用いた火害を受けた長期供用コンクリートの分析およびその炭酸化機構

新潟大学 松田啓暉
○斎藤 豪
新潟大学大学院 佐藤賢之介
新潟大学 佐伯 竜彦

1213. 乾燥に伴うモノサルフェートの構造変化およびC-S-Hの共存がエトリンガイトの二次生成に及ぼす影響

新潟大学大学院 ○佐藤賢之介
新潟大学 品川英斗
斎藤 豪
佐伯 竜彦

<休憩 14:30~14:45>

<休憩 13:45~14:00>

| |
|-------------|
| 第3会場 |
|-------------|

13：15～14：30 流動性

〔研究発表 1312～1316〕

1312. 2次元リアルタイムシミュレータにおけるフレッシュコンクリートの流動特性の決定方法に関する基礎的研究

| | | | | |
|---------|----|---|---|---|
| 三重大学大学院 | ○三 | 島 | 直 | 生 |
| 琉球大学 | | 山 | 田 | 義 |
| | | 崎 | 原 | 康 |
| 三重大学 | | 木 | 村 | 洸 |

1313. モルタルのレオロジー定数推定方法の提案と有効性の検証

| | | | | |
|---------|----|---|---|---|
| 琉球大学大学院 | ○比 | 嘉 | 善 | 希 |
| 琉球大学 | | 山 | 田 | 義 |
| 琉球大学大学院 | | 東 | 舟 | 道 |
| 琉球大学 | | 崎 | 原 | 康 |

1314. 粒度調整した砕砂の物性値・粒子形状・微粒分がモルタルの流動性に与える影響

| | | | | |
|---------|----|---|---|---|
| 北九州市立大学 | ○小 | 出 | 水 | 翔 |
| | | 高 | 巢 | 幸 |
| | | 小 | 山 | 田 |
| | | 陶 | 山 | 裕 |

1315. サスペンションせん断開始直後の弾性的ひずみ挙動の観察

| | | | | |
|-------------|----|---|---|---|
| 東京大学大学院 | ○田 | 中 | 俊 | 成 |
| 東京大学生産技術研究所 | | 岸 | 利 | 治 |

1316. 加速度および振動数がフレッシュコンクリートの流動性に及ぼす影響

| | | | | |
|-----------|----|---|---|---|
| 東京理科大学大学院 | ○西 | 村 | 和 | 朗 |
| 東京理科大学 | | 加 | 藤 | 佳 |

〈休憩 14：30～14：45〉

5月8日(火)

第1会場

14:45~15:45 環境・リサイクル

[研究発表 1117~1120]

1117. 石炭灰混合材料の微細構造がホウ素の溶出に及ぼす影響

電力中央研究所
東京大学大学院
電力中央研究所
東京大学大学院

○大塚 拓
岩屋 希
井野場 誠
石田 哲

1118. K-geopolymerへのCsの吸着形態

北海道大学大学院
北海道大学

○吉田 慧史
森永 祐加
Elakneswaran Yogarajah
名和 豊春

1119. 乾燥スラッジ微粉末を使用したモルタルの空隙構造が塩分浸透抵抗性に与える影響

芝浦工業大学大学院
三和石産株式会社
芝浦工業大学

○荒木 萌
大川 憲
伊代田 岳史

1120. 底泥を細骨材として利用したモルタルの底泥置換率と強度特性の関係

立命館大学
琵琶湖水質改善研究会
立命館大学

○下原 怜也
中川 隆一
川崎 佑磨

(終了 15:45)

第2会場

14:00~15:30 混合セメント、特殊セメント

[研究発表 1214~1219]

1214. 高炉セメントの水和物組成と空隙構造特性に及ぼすスラグ置換率の影響

前橋工科大学

○佐川 孝広
門間 永悟

1215. 高炉スラグ微粉末の塩基度と水和物組成

前橋工科大学

○佐川 孝広
前田 一誠

1216. 高C₃Sセメントを用いたFAセメントの水和反応に与える養生温度の影響

東京工業大学
株式会社デイ・シー
太平洋セメント株式会社
東京工業大学

○向 俊成
二戸 信和
平尾 宙
坂井 悦郎

1217. 伝導型熱量計による国内外の高炉スラグ微粉末およびフライアッシュの活性度指数の促進試験法

清水建設株式会社

○依田 侑也
清村 俊介
黒田 泰弘
坂井 悦郎

1218. 分級したフライアッシュのキャラクタリゼーションと反応性影響因子の解析

太平洋セメント株式会社

○中居 直人
引田 友幸
内田 俊一郎

1219. 中庸熱ポルトランドセメント-CaO・2Al₂O₃-膨張材系の炭酸化反応と空隙構造の変化

東京工業大学
デンカ株式会社

○坂井 悦郎
梅津 真見子
相川 豊
森 泰一郎

(終了 15:30)

| |
|-------------|
| 第3会場 |
|-------------|

14：45～15：45 化学混和剤

〔研究発表 1317～1320〕

1317. フライアッシュセメントの初期水和活性およびポゾラン反応に及ぼすアルカノールアミンの影響

| | | | |
|--------------|----|---|---|
| 島根大学大学院 | ○新 | 大 | 軌 |
| | 宋 | 玄 | 眞 |
| | 大 | 西 | 雄 |
| GPCケミカルズ株式会社 | 宮 | 川 | 美 |
| | | | 大 |
| | | | 穂 |

1318. 異なる結合剤を用いたモルタルの流動性におよぼす化学混和剤への熱刺激の影響

| | | | | |
|---------|----|---|---|---|
| 東海大学 | ○瀧 | 川 | 瑞 | 季 |
| | 坊 | 村 | 侑 | |
| 東海大学大学院 | 竹 | 久 | 大 | 貴 |
| 東海大学 | 伊 | 達 | 重 | 之 |

1319. 相互作用力に基づいた立体障害モデルによる楕形高分子の吸着層厚の推定

| | | | | |
|----------|----|---|---|---|
| 北海道大学大学院 | ○葛 | 間 | 夢 | 輝 |
| 北海道大学 | 名 | 和 | 豊 | 春 |

1320. C-S-H系硬化促進剤がコンクリートの空隙改質に与える影響

| | | | | |
|--------------|----|---|---|---|
| 芝浦工業大学大学院 | ○水 | 野 | 博 | 貴 |
| 芝浦工業大学 | 牛 | 久 | 実 | 梨 |
| BASFジャパン株式会社 | 杉 | 山 | 知 | 巳 |
| 芝浦工業大学 | 伊 | 代 | 田 | 岳 |

(終了 15：45)

5月9日(水)

第1会場

9:15~10:00 製造技術、クリンカー鉱物

[研究発表 2101~2103]

2101. セメント製造におけるアンモニア燃焼技術

宇部興産株式会社 ○末 益 西 尾 伊 藤 上 田 正 貴 猛 幸 康 誠

2102. 連続式セメントチューブミルのスケール則

○野 村 伸一郎

2103. メカノケミカル法によって合成した β - C_2S に関する基礎的検討

新潟大学 ○横 山 卓 之 齋 藤 賢 之 佐 藤 賢 之 佐 伯 竜 彦
新潟大学大学院
新潟大学

第2会場

9:15~10:15 セメント系補修材、コンクリートの診断・補修

[研究発表 2201~2204]

2201. 亜硝酸リチウム混和モルタルの CO_2 侵入による組成変化

福岡大学大学院 ○山 田 正 健
福岡大学 樫 原 弘 貴
福岡大学大学院 添 田 政 司
大 塚 大 人

2202. セシウム吸着ゼオライトのセメント固化技術に関する基礎研究~化学混和剤によるセメント固化体の製作性及び力学的安定性への影響~

八戸工業高等専門学校 ○須 藤 大 空
庭 瀬 一 仁

2203. シラン系表面含浸材の施工材齢および水セメント比がモルタル性能に与える影響

高知工業高等専門学校 ○小 松 桃 子
近 藤 拓 也
大同塗料株式会社 仲 本 善 彦
高知工業高等専門学校 國 元 陸 登

2204. 弾性波トモグラフィ法によるコンクリートの内部探査結果に及ぼす欠陥種類の影響に関する研究

愛知工業大学 ○山 田 和 夫
瀬 古 繁 喜
愛知工業大学大学院 関 俊 力

〈休憩 10:00~10:15〉

〈休憩 10:15~10:30〉

第3会場

9:15~10:30 コンクリートの試験方法、コンクリート製品

〔研究発表 2301~2305〕

2301. 電気泳動試験中の電極消耗が供試体間電位差の低下に与える影響の把握

| | | | | |
|-----------|----|---|---|---|
| 東京理科大学大学院 | ○村 | 上 | 大 | 介 |
| | 橋 | 本 | 永 | 手 |
| 東京理科大学 | 加 | 藤 | 佳 | 孝 |
| 東北大学大学院 | 皆 | 川 | | 浩 |

2302. コンクリートの質量測定による中性化深さ推定の試み

| | | | | |
|-------|----|---|---|---|
| 工学院大学 | ○齊 | 藤 | 辰 | 弥 |
| | 阿 | 部 | 道 | 彦 |

2303. 真空飽水処理がコンクリートの吸水試験結果に及ぼす影響

| | | | | |
|---------|----|---|---|---|
| 広島大学大学院 | ○久 | 堀 | 泰 | 誉 |
| | 半 | 井 | 健 | 一 |
| | | | 郎 | |

2304. セメント硬化体の破面形状に及ぼす要素強度の影響に関する基礎的研究

| | | | | |
|-------------|----|---|---|---|
| 首都大学東京大学院 | ○菅 | | 智 | 輝 |
| | 橋 | 高 | 義 | 典 |
| | 國 | 枝 | 陽 | 一 |
| 太平洋セメント株式会社 | 早 | 野 | 博 | 幸 |

2305. シリカフェーム混合セメントを用いた高強度プレキャストコンクリートの強度発現性および強度管理方法に関する研究

| | | | | |
|-------------|----|---|---|---|
| 三菱マテリアル株式会社 | ○木 | 村 | 祥 | 平 |
| | 石 | 隈 | 春 | 輝 |
| | 黒 | 岩 | 義 | 仁 |

〈休憩 10:30~10:45〉

5月9日(水)

第1会場

10:15~11:30 環境・リサイクル

[研究発表 2104~2108]

2104. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その1) 廃棄物多量活用セメントの環境影響評価

太平洋セメント株式会社 ○桐野裕介
星野清一
株式会社トクヤマ 茶林敬司
広島大学大学院 河合研至

*2105. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その2) 廃棄物活用とCO₂排出の統合化手法の検討

太平洋セメント株式会社 桐野裕介
広島大学大学院 ○河合研至
太平洋セメント株式会社 平尾宙男
株式会社トクヤマ 新見龍男

*2106. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その3) 廃棄物指標の他産業への適用性に関する検討

広島大学 ○柴崎悠吾
広島大学大学院 河合研至
太平洋セメント株式会社 星野清一
株式会社トクヤマ 茶林敬司

2107. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その4) 日本版被害算定型影響評価手法による構造物の評価

太平洋セメント株式会社 ○星野清一
株式会社トクヤマ 新見龍男
太平洋セメント株式会社 桐野裕介
広島大学大学院 河合研至

2108. セメントのリサイクル資源活用を考慮した環境影響評価(その5) 構造物を対象とした環境影響評価

株式会社トクヤマ ○新見龍男
太平洋セメント株式会社 星野清一
株式会社トクヤマ 加藤弘義
広島大学大学院 河合研至

<昼休み 11:30~13:30>

第2会場

10:30~11:30 コンクリートの診断・補修

[研究発表 2205~2208]

2205. 画像相関法による断面修復したコンクリート角柱供試体の圧縮試験時のひずみ分布特性

三重大学大学院 ○三島直生
三重大学 浦野航希
三重大学大学院 BAI QILIGEER

2206. アミノ酸を添加した断面修復材の補修効果および自己治癒効果に関する検討

徳島大学大学院 ○谷口沙耶佳
上田隆雄
日建工学株式会社 飯干富広
太平洋セメント株式会社 江里口玲

2207. 実RC橋梁の地覆から採取したコンクリートサンプルの塩化物浸透状況調査に関する一考察

群馬大学 ○田名部実梨
小澤満津雄
高柳卓秀
株式会社アイ・ディー・エー 鹿沼徹雄

2208. 光ファイバセンサを用いたコンクリートの凍害劣化の評価に関する研究

太平洋セメント株式会社 ○城出真弥
早野博幸
江里口玲
落合昂

<昼休み 11:30~13:30>

第3会場

10:45~11:00 委員会報告
セメント系固化材技術専門委員会

11:00~12:15 セメント系固化材

[研究発表 2306~2310]

2306. セメント系固化材による改良体の膨張に関する基礎
検討 (その3)

| | | | | |
|--------------|----|---|---|---|
| セメント協会 | ○中 | 村 | 弘 | 典 |
| 株式会社トクヤマ | 重 | 田 | 輝 | 年 |
| 宇部三菱セメント株式会社 | 黒 | 澤 | | 功 |
| 太平洋セメント株式会社 | 森 | | 喜 | 彦 |

2307. セメント系固化材による酸性硫酸塩土壌の改良に関
する一検討

| | | | | |
|--------------|----|---|---|---|
| セメント協会 | ○泉 | 尾 | 英 | 文 |
| 広島大学 | 半 | 井 | 健 | 一 |
| 株式会社ダイ・シイ | 二 | 戸 | 信 | 和 |
| 日鉄住金セメント株式会社 | 酒 | 井 | 秀 | 一 |

2308. セメントの添加による版築の強度向上に関する検討

| | | | |
|------------|------|------|---|
| 日本大学 | 湯 | 浅 | 昇 |
| 名古屋市立大学大学院 | ○荒 | 卷 | 卓 |
| | 青 | 木 | 孝 |
| | ブンツォ | ワングモ | |

2309. セメント系安定処理砂の力学特性—材齢20年のねじ
りせん断試験結果—

| | | | | |
|------|----|---|---|---|
| 日本大学 | 山 | 田 | 雅 | 一 |
| | ○近 | 藤 | 壮 | 一 |
| | 道 | 明 | 裕 | 毅 |
| | 安 | 田 | 貴 | 則 |

2310. セメント系安定処理砂の力学特性—ベンダーエレメ
ント試験による初期せん断弾性係数の評価—

| | | | | |
|------|----|---|---|---|
| 日本大学 | 山 | 田 | 雅 | 一 |
| | ○安 | 田 | 貴 | 則 |
| | 道 | 明 | 裕 | 毅 |
| | 近 | 藤 | 壮 | 一 |

第1会場

13:30~15:00 セメント協会挨拶
論文賞表彰式
論文賞受賞者記念講演

〈休憩 15:00~15:30〉

15:30~17:00 特別講演

セメント化学の将来を展望する
~コンクリート工学への貢献~

北海道大学 総長 名和豊春氏

(終了 12:15)

5月10日(木)

第1会場

9:15~10:45 コンクリート舗装

[研究発表 3101~3106]

3101. コンクリート舗装のすべり抵抗性に対する路面テクスチャの影響

首都大学東京大学院 ○水上 井 唯宇太
セメント協会 吉 野 敦
瀧 波 徹
人

3102. 舗装路面のマイクロテクスチャの現場測定手法に関する一検討

セメント協会 ○伊 藤 孝 文
首都大学東京大学院 泉 尾 英 文
上 井 唯宇太
野 敦

3103. 溶融スラグ細骨材を用いた舗装用コンクリートに関する一検討

セメント協会 ○伊 藤 孝 文
南魚沼市 吉 本 徹
住友大阪セメント株式会社 原 澤 健
草 野 昌 夫

3104. 改質フライアッシュの早期交通開放型コンクリート舗装への適用性に関する検討

太平洋セメント株式会社 ○樋 口 貴 泰
日本製紙株式会社 岸 良 竜
東北大学大学院 佐 藤 貴 之
久 田 真

3105. 早期開放型排水性コンクリート舗装に関する基礎的研究

徳山工業高等専門学校 ○山 門 健 人
長岡技術科学大学 森 山 哲 成
徳山工業高等専門学校 小 島 風 太
田 村 隆 弘

3106. 1DAY PAVEの発熱特性と温度解析手法に関する検討

太平洋セメント株式会社 ○市 川 裕 規
兵 頭 彦 次
七 尾 舞
梶 尾 聡

<休憩 10:45~11:00>

第2会場

9:15~10:30 耐久性一般

[研究発表 3201~3205]

3201. モルタルの遷移帯に与える骨材表面ゼータ電位の影響に関する検討

株式会社福田組 ○井 貝 武 史
新潟大学 佐 伯 竜 彦
新潟大学大学院 斎 藤 豪
本 間 健

3202. ASRがエトリンタイトの遅延生成(DEF)に及ぼす影響

鉄道総合技術研究所 ○山 崎 由 紀
鶴 田 孝 司
上 原 元 樹

3203. エトリンタイトを伴うコンクリート劣化組織の岩石学的手法による原因検証

金沢大学 ○安 藤 陽 子
株式会社太平洋コンサルタント 広 野 真 一
片 山 哲 哉
鳥 居 和 之

3204. コンクリートの最高温度、アルカリ量及び硫酸塩量が長期材齢におけるDEF膨張量及び膨張開始時期に及ぼす影響

岩手大学大学院 ○昆 悠 介
岩手大学 羽 原 俊 祐
小山田 哲 也
田中館 悠 登

3205. フライアッシュによるDEF抑制効果に関する検討

株式会社太平洋コンサルタント ○小 川 彰 一
高 橋 晴 香
川 端 雄 一
渡 邊 禎 之

<休憩 10:30~10:45>

第3会場

9:15~10:30 混和材

〔研究発表 3301~3305〕

3301. 高炉スラグ超微粉末を用いたモルタルの圧縮強度および収縮特性

株式会社デイ・シイ ○藤原了
 小菅 太朗
 二戸 信和
 宇都宮大学 藤原 浩巳

3302. 火山ガラス微粉末を用いた活性度指数試験の練混ぜ時間と粉体の分散に関する研究

東京大学大学院 ○友寄篤
 野口 貴文
 鹿児島県工業技術センター 袖山 健一
 株式会社プリンシプル 東 和朗

3303. 高炉スラグ微粉末を混合したコンクリート中への水分浸透に関する実験的検討

東京理科大学 ○江口康平
 加藤佳孝
 伊東 篤史

3304. 高炉コンクリートの炭酸化が物質移動抵抗性に与える影響

芝浦工業大学大学院 ○三坂岳広
 芝浦工業大学 末木 博
 伊代田 岳史

3305. 早強ポルトランドセメントに高炉スラグ微粉末を混合したコンクリートの塩化物イオン浸透性

福岡大学大学院 ○森裕介
 福岡大学 櫛原 弘貴
 福岡大学大学院 添田 政司
 佐藤 悠士朗

〈休憩 10:30~10:45〉

5月10日(木)

第1会場

11:00~12:00 コンクリートの施工、ポーラス コンクリート、繊維補強コンク リート

[研究発表 3107~3110]

3107. コンクリートの導電率を用いた初期材齢における圧縮強度の推定手法の提案

芝浦工業大学大学院 ○中西 緑
飛鳥建設株式会社 楨島 修
芝浦工業大学 伊代田 岳史

3108. 締固め方法の異なるハイブリッドポーラスコンクリートの緑化性能

名古屋大学大学院 ○木山直 道
呉工業高等専門学校 鍋島美 咲
堀口 至
三 村 陽 一

3109. Jute繊維を混入した高強度コンクリートの火災時における爆裂抑制効果

群馬大学 ○赤坂春風
小澤満津雄
Subedi Parajuli Sirjana
太平洋マテリアル株式会社 杉野雄亮

3110. ラテックス改質速硬コンクリートとネット状連続繊維補強材を併用したRC構造物のひび割れ抑制効果に関する研究

宮崎大学 ○李春鶴
野泰成
安井賢太郎
長塩靖 祐
太平洋マテリアル株式会社

第2会場

10:45~12:00 耐久性一般、ASR

[研究発表 3206~3210]

3206. 異なる共存イオン下でのセメント硬化体からの鉛溶出挙動

広島大学 ○西脇拓巳
広島大学大学院 周少軍
小河由布子
河合研至

3207. 中規模供試体を対象としたコンクリートの表層透気係数の経年変化

東京大学大学院 ○横山勇気
東京大学生産技術研究所 酒井雄也
岸 利治

3208. ASR促進試験におけるアルカリラッピングの濃度の検討

九州大学大学院 ○村上光樹
国立環境研究所 山田一夫
港湾空港技術研究所 川端雄一郎
九州大学大学院 佐川康貴

3209. 種々の促進環境条件がASR膨張の寸法依存性に与える影響に関する実験的検討

東京大学大学院 ○高橋佑弥
小川森平
前川 宏一

3210. 河川産骨材を使用したPC桁からのコアによる促進膨張試験結果の検証

株式会社太平洋コンサルタント ○広野真一
株式会社野村昌弘の研究所 村陽弘
金沢大学 安藤陽和
鳥居 和之

〈昼休み 12:00~13:00〉

〈昼休み 12:00~13:00〉

第3会場

10:45~11:45 混和材、骨材

[研究発表 3306~3309]

3306. 実環境におけるフライアッシュのボゾラン反応の定量評価 その1 曝露試験に使用したフライアッシュのボゾラン反応率と積算温度の関係

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| 太平洋セメント株式会社 | ○ | 曾 | 我 | 亮 | 太 |
| 電源開発株式会社 | | 石 | 川 | 嘉 | 崇 |
| 太平洋セメント株式会社 | | 林 | 川 | 建 | 佑 |
| | | 細 | 川 | 佳 | 史 |

3307. 実環境におけるフライアッシュのボゾラン反応の定量評価 その2 曝露試験体のボゾラン反応率が耐久性に与える影響

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| 太平洋セメント株式会社 | ○ | 曾 | 我 | 亮 | 太 |
| 電源開発株式会社 | | 石 | 川 | 嘉 | 崇 |
| 太平洋セメント株式会社 | | 林 | 川 | 建 | 佑 |
| | | 細 | 川 | 佳 | 史 |

3308. 海洋環境に曝露したフライアッシュコンクリートにおける中性化と塩分浸透

| | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|
| 電源開発株式会社 | ○ | 石 | 川 | 嘉 | 崇 |
| 太平洋セメント株式会社 | | 細 | 川 | 佳 | 史 |
| | | 林 | | 建 | 佑 |
| | | 曾 | 我 | 亮 | 太 |

3309. 高炉スラグ細骨材の反応性に関する基礎的研究

| | | | | | |
|----------|---|--------------|-----------|---|---|
| 北海道大学大学院 | ○ | 野 | 口 | 菜 | 摘 |
| | | 梶 | 尾 | 知 | 広 |
| 北海道大学 | | Elakneswaran | Yogarajah | | |
| | | 名 | 和 | 豊 | 春 |

〈昼休み 11:45~12:45〉

5月10日(木)

第1会場

13:00~13:45 物性一般

[研究発表 3111~3113]

3111. コンクリート表面の色ムラに与える諸要因の一考察

立命館大学大学院 ○下 友 希
立命館大学 川 崎 佑 磨

3112. 拘束リング試験法を適用したコンクリートの高温環境下における耐爆裂性評価のPC部材への適用に関する検討

株式会社ピーエス三菱 ○藤 本 謙太郎
群馬大学大学院 小 澤 満津雄
株式会社ピーエス三菱 山 本 哲 二
井 筒 浩 二

3113. 水和イオン半径および生成物の形成がモルタル中の水分浸透抑制に与える影響

東京理科大学大学院 ○金 子 泰 明
東京理科大学 加 藤 佳 孝
江 口 康 平

第2会場

13:00~14:30 凍結融解、化学的浸食・溶脱

[研究発表 3211~3216]

3211. リニアトラバース法と点過程法で評価した気泡間隔特性値の比較

大成建設株式会社 室 谷 卓 実
金沢大学 ○五十嵐 心 一
寺 澤 佑 丞

3212. 高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートのフレッシュ性状、強度および凍結融解抵抗性に及ぼす回収水の影響

岡山大学大学院 ○藤 井 隆 史
綾 野 克 紀

3213. 低温下における降温と昇温の繰り返しがモルタルのソルトスケーリング抵抗性に及ぼす影響

岩手大学大学院 ○田中 館 悠 登
岩手大学 羽 原 俊 祐

3214. 乾湿繰り返しの乾燥期間が細孔構造と凍結融解抵抗性に及ぼす影響

住友大阪セメント株式会社 ○宮 蘭 雅 裕
東京大学生産技術研究所 岸 利 治

3215. 深海底に長期間暴露したセメントモルタルの力学特性と水和物の変化

宇部興産株式会社 ○小 林 真 理
高 橋 恵 輔
東京海洋大学 山 中 寿 朗
海洋研究開発機構 牧 田 寛 子

3216. 人工海水のイオン濃度がセメント硬化体中のCa(OH)₂量と劣化に及ぼす影響

東京理科大学大学院 ○直 町 聡 子
東京理科大学 加 藤 佳 孝

<休憩 13:45~14:00>

(終了 14:30)

第3会場

12:45~14:00 混合セメント

[研究発表 3310~3314]

3310. 養生温度およびガラス構造がフライアッシュの水和反応特性に及ぼす影響

新潟大学大学院 ○小 柳 秀 光
新潟大学 目 黒 貴 史
佐 伯 竜 彦
斎 藤 豪

3311. 高 C_3S セメントを用いたFAセメントを使用したコンクリートの諸物性に関する研究

法政大学大学院 ○泉 宙 希
法政大学 溝 測 利 明

3312. 高エアライトセメントを用いたフライアッシュセメントの中酸化に関する一考察

太平洋セメント株式会社 ○中 川 裕 太
久 我 龍 一 郎
平 尾 宙
東京工業大学 坂 井 悦 郎

3313. フライアッシュのガラス組成がポゾラン反応生成物に及ぼす影響の検討

新潟大学大学院 ○目 黒 貴 史
新潟大学 佐 伯 竜 彦
新潟大学大学院 小 柳 秀 光
新潟大学 斎 藤 豪

3314. 高炉セメントの水和反応・収縮特性に及ぼす高炉スラグ超微粉末の影響

島根大学大学院 ○新 大 軌
島根大学 宋 玄 眞
株式会社デイ・シイ 玉 廣 将 平
二 戸 信 和

<休憩 14:00~14:15>

5月10日(木)

第1会場

14:00~15:15 膨張・収縮、ひび割れ

[研究発表 3114~3118]

3114. Influence of aggregate types on shrinkage-induced microcracks

Nagoya University ○Sasano Hiroshi
Maruyama Ippei

3115. 膨張コンクリートの長さ変化率の測定器具と測定方法

デンカ株式会社 ○栖原 健太郎
NPO法人持続可能な社会基盤研究会 辻 幸和
デンカ株式会社 真下 昌章
小竹 弘寿

3116. 普通ポルトランドセメントを用いたセメント硬化体の炭酸化収縮性状

東京大学 ○中田 清史
野口 貴文

3117. コンクリートの乾燥収縮特性に及ぼす相対湿度および乾燥開始材齢の影響 その1 測定方法と乾燥収縮特性

太平洋セメント株式会社 ○面来洋 児
大野拓也
TAIHEIYO SINGAPORE PTELTD. 三谷裕二
名古屋大学 丸山 一平

3118. コンクリートの乾燥収縮特性に及ぼす相対湿度および乾燥開始材齢の影響 その2 寸法と水和進行度の影響

太平洋セメント株式会社 ○大野拓也
三谷裕二
TAIHEIYO SINGAPORE PTELTD. 丸山 一平
名古屋大学

第2会場

*

*

*

第3会場

14:15~15:15 セメント系新材料

[研究発表 3315~3318]

3315. 少量混合成分を増量したセメントの品質評価

太平洋セメント株式会社 ○中黒平上 歩大直
口川尾野 香亮宙樹

3316. 少量混合成分を増量したセメントのコンクリート評価

デンカ株式会社 ○寺内貴史
田原和司
飯盛達郎
盛岡 実

3317. 少量混合成分を増量したセメントの水和反応

東京工業大学 ○松植相坂 澤田川井 一輝
由紀子
豊悦郎

3318. 少量混合成分を増量したセメントの水和に及ぼす分散剤少量添加の影響

東京工業大学 ○松植相坂 澤田川井 一輝
由紀子
豊悦郎

(終了 15:15)

(終了 15:15)

● 特別講演 ●

セメント化学の将来を展望する
～コンクリート工学への貢献～

北海道大学 総長 名和豊春氏

● 委員会報告 ●

5月9日（水）10：45～11：00

セメント系固化材技術専門委員会

—最近の取組みについて—

セメント・コンクリート論文集 Vol.72（2018年度）論文募集のご案内

セメント協会では、セメント・コンクリート論文集Vol.72に掲載するための論文を募集いたします。「セメント・コンクリート論文集投稿要領」および「セメント・コンクリート論文集原稿執筆要領」をご高覧のうえ、ふるってご応募ください。

1. 論文の申込み

1.1 論文の申込み

セメント協会ホームページ [http://www.jcassoc.or.jp(イベント・募集>募集>セメント・コンクリート論文集)]から申込書ファイル (Microsoft Excel形式) をダウンロードし、必要事項すべてを明記のうえ、締切日までに「5. 提出および問合せ先 (事務局)」にE-mailの添付ファイルとして送信してください。

1.2 提出原稿 査読のための原稿4部 (「原稿執筆要領」を参照ください)

2. 論文投稿受付期間 2018年4月2日(月)～5月18日(金) 17時まで

3. 投稿のための費用 無料

4. セメント協会論文賞

セメント・コンクリート論文集 (過去2ヶ年<2冊>) に掲載された論文の中から特に優秀と認めた論文に対し、毎年『セメント協会論文賞』を授与いたします。

5. 提出および問合せ先 (事務局)

〒114-0003 東京都北区豊島4丁目17番33号 一般社団法人セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail : jca_event@jcassoc.or.jp

懇談会のご案内

第72回セメント技術大会の開催に当たり、参加各位の交流を目的に以下のとおり懇談会を開催いたします。発表者・共同研究者および一般聴講者の方々にも広くご参加をいただきたくご案内申し上げます。

日 時：5月9日（水）17時15分～18時45分

場 所：ホテルメトロポリタン（3階富士）

参加費：無料

参加方法：大会期間中に聴講の受付をされた方は、そのままご来場ください。

懇談会のみ参加を希望される方は、当日の参加受付をお願いします。

問合せ先：セメント協会 研究所 技術情報グループ

☎03-3914-2692 E-mail : jca_event@jcassoc.or.jp

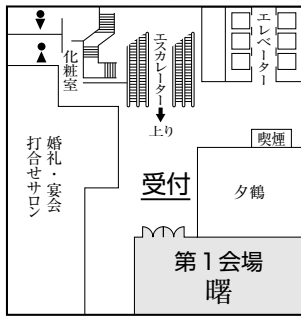
ホテルメトロポリタン案内図

東京都豊島区西池袋1-6-1 ☎03-3980-1111

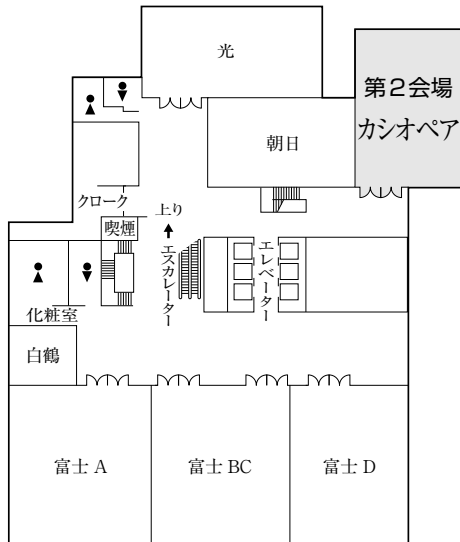
☒ **会場案内図** ※受付は1日目(2F)と2・3日目(3F)で場所が変わりますのでご注意ください。

1日目【5月8日(火)】

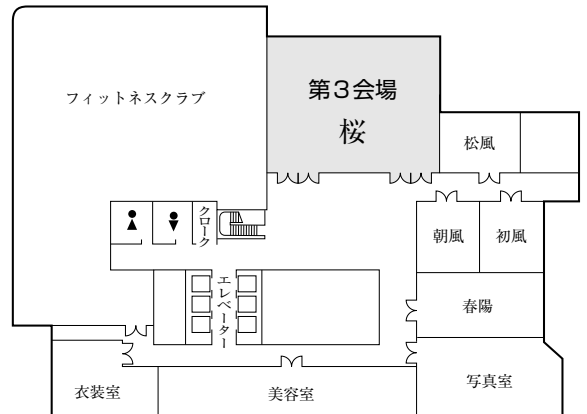
2F



3F

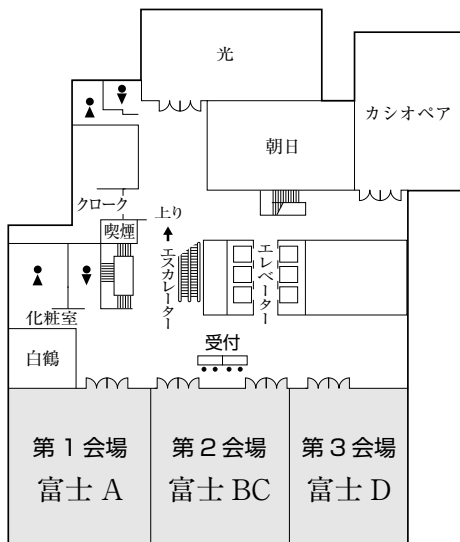


4F



2・3日目【5月9日(水)・10日(木)】

3F



☒ 交通のご案内

池袋駅西口から徒歩約3分

- JR 山手線, 埼京線
- 東京メトロ 丸の内線, 有楽町線, 副都心線
- 西武 池袋線
- 東武 東上線



セメント・コンクリート論文集の公開について

セメント・コンクリート論文集につきましては、Vol.68より、(国研)科学技術振興機構のJ-STAGE上での無償公開のみとなりました。

論文集をより広く公開することにより、学術誌としての認知度および利活用の向上に努めてまいります。